

教育支援部だより

令和元年度 NO. 1

新年度が始まり、2ヶ月が過ぎようとしています。

子どもたちは、新しい場所、友達、先生・・・いろいろなことに慣れようと、とても頑張っています。

さて、本校教育支援部は、今年度も昨年同様、本校の実践や関わりについて紹介していきます。少しでも、教育活動の参考になればと思います。

本校では、5月27日（月）和歌山大学・武田教授に来ていただき、生徒への支援・関わりについて助言をいただきました。その中から、児童生徒と関係性を構築する大切なこの時期に、特に大事なことを紹介します。

後出しを大切に！

障害や特性のある子どもたちは、小さい頃から周りの大人や友達から指示（先出し）され動くことが多いため、自ら発信することが少なくなっています。本人からの発信は、特に思春期の大きな発達課題です。『待つ姿勢』を大切にしましょう。



提案・交渉型の関わりは
色々な力を育てます！

相談力を育みましょう！

特に自閉症スペクトラムの子どもたちは、協調性を求められると、しんどい子ども達が多く、集団に不応答を起こすことも少なくありません。そこで、周りの大人から提案・交渉され、自分で選択することを積むと、『相談力』が育ちます。押しつけてではなく、子どもとよく話してください。



否定的な言葉は
のちにフラッシュバックします！

適切な行動は褒めて！

育ちの中で、注意されることが多かった子どもは、自己肯定感が低く、自信もありません。否定的な言葉にとっても敏感になっていることも多く、注意をすると余計に不適切な言動が増えてしまうことが多いです。なるべく、肯定的な声かけを心がけましょう。また、無視できる範囲の不適切な言動は、スルーしましょう。

教育支援部だよりの内容、本校の取組について、質問・相談等ありましたら、お電話やメールで連絡してください。

TEL (0736) 42-0415

mail kinokawa.shien@wakayama-c.ed.jp

担当 教育支援部